

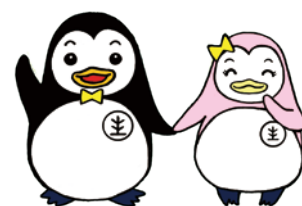
● 社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、新たな被害者も加害者も生まない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。犯罪や非行のない幸福で明るい社会を願う象徴として「幸福(しあわせ)の黄色い羽根」をシンボルマークとしています。

本市では、毎年7月に社会を明るくする運動の一環として講演会を開催しています。講演会では、田原市内の小中学生から応募のあった社会を明るくする運動作文コンテストの作品の中から田原保護区保護司会最優秀賞を受賞した作文の朗読や渥美混声合唱団による合唱が行われています。

犯罪や非行のない安全で安心な社会を作るには、多くの人に更生保護活動について知ってもらい、理解をしてもらうことが大切です。

※詳しくは、市のYouTubeチャンネルをご覧ください。



▲ 更生ペンギンのホゴちゃんとサラちゃん



◀ 市YouTube



▲ 渥美混声合唱団による合唱



▲ 刑務所作業製品の展示・販売

保護司会、更生保護女性会、協力雇用主会の皆さんは、それぞれの立場から、立ち直ろうとする人に寄り添い、再出発を支えています。更生する未来を信じ、味方であり続けることに更生保護の大切な役割があります。

地域から孤立してしまえば、再出発はさらに難しくなります。更生保護は一人だけの問題ではありません。私たち一人ひとりが理解し、温かく見守ることも支援の一つです。更生保護により、誰もが安心して暮らせる未来に向けて、地域で支え合う輪を広げていきましょう。

「信じること」から 始まる再出発

幸せの黄色いリボン

幸せの黄色いリボンは、刑期を終えて家に帰る男性が妻に「もし犯罪を犯した自分を受け入れてもらえるなら、樫の木に黄色いリボンを結んでおいてほしい」と手紙を送り、その願いがかなう物語を歌った曲です。

田原保護区では、社会復帰を目指す人を励ますとともに、視覚障害のある方にも「社会を明るくする運動」を知ってもらいたいとの思いを込め、同運動の講演会でこの曲を披露しています。こうした黄色いリボンの物語から生まれたのが、「幸福(しあわせ)の黄色い羽根」です。平成23年に「社会を明るくする運動」で採用され、その後全国へ広がり、現在は同運動のシンボルマークとなっています。

